

H27-B-1 深度75.57~76.00m 最新活動面の走向・傾斜 (No.48) の変更に伴い、条線方向 (No.49) を変更

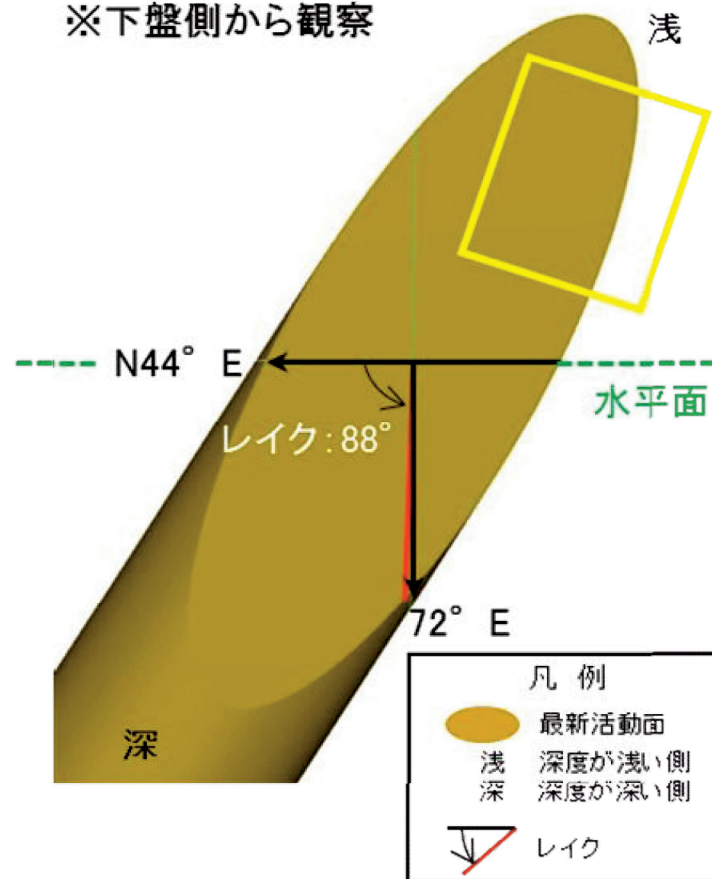
- H27-B-1孔 深度75.73mの断層面の走向・傾斜はN44°E72°E※であり、88Rの条線が認められる。※破碎部の走向・傾斜をBHTV画像から取得できなかったことから、同一ボーリングコアの他の不連続面と本破碎部の位置関係から推定した走向・傾斜データを使用

コア写真

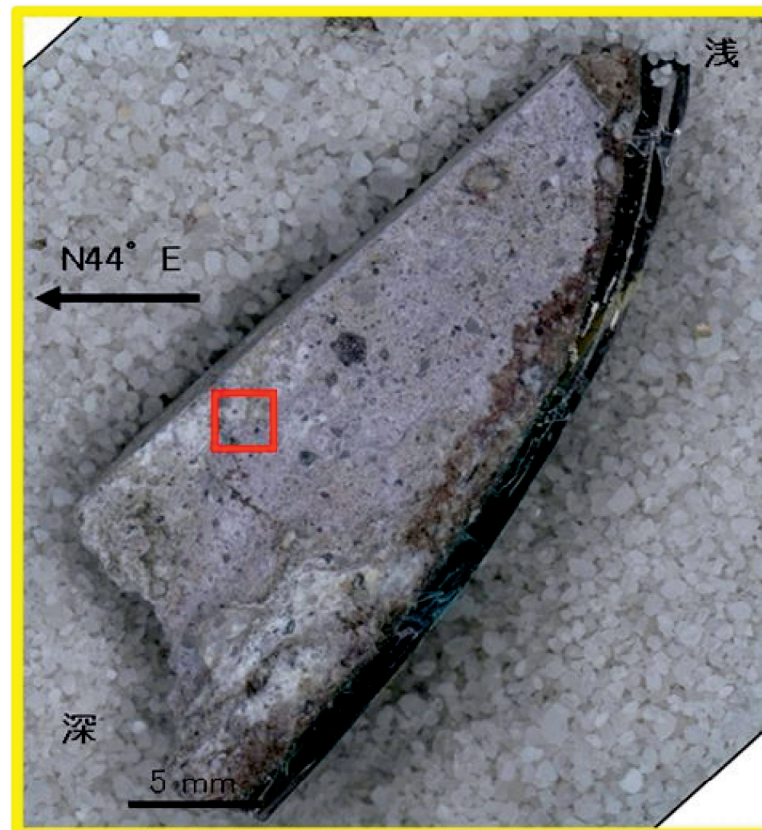


コアチューブ引き上げ時のコアの継ぎ目により、最新活動面が不連続になっている

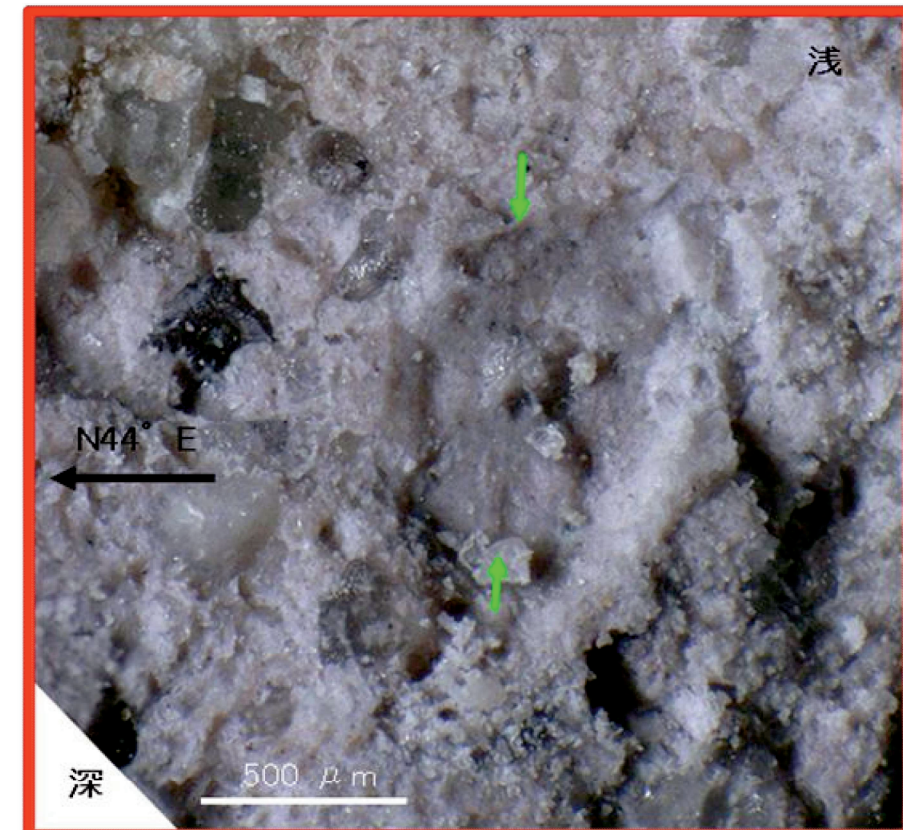
※下盤側から観察



- 前頁の図3に、計測した条線値、推定した走向・傾斜から得られたレイクを赤線で表示している。
- 下盤側から最新活動面を見た模式図のため、レイクがL方向に描かれているが、数値は上盤側から見た88Rとなる。



条線観察位置拡大



赤枠内拡大



図4 最新活動面と走向・傾斜、条線の関係図

H27-B-1 深度75.57~76.00m 最新活動面の走向・傾斜 (No.48) の変更に伴い、条線方向 (No.49) を変更

- 条線観察位置が最新活動面であることを残試料を用いて確認した。

コア写真



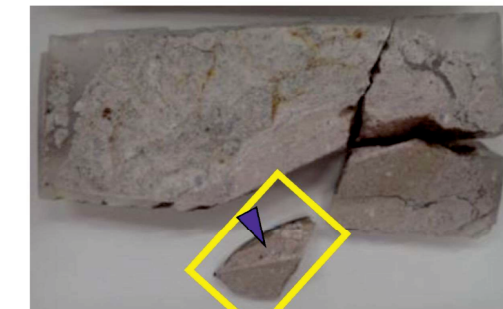
凡例
 ← → 破碎部範囲*
 ※:写真上は白色で記載
 ↘ 最新活動面

研磨片写真(横から)



凡例
 ↖ 試料切断方向

条線観察位置



凡例
 ◀ 条線観察位置

研磨片作製位置



青枠部拡大
 0 5 cm

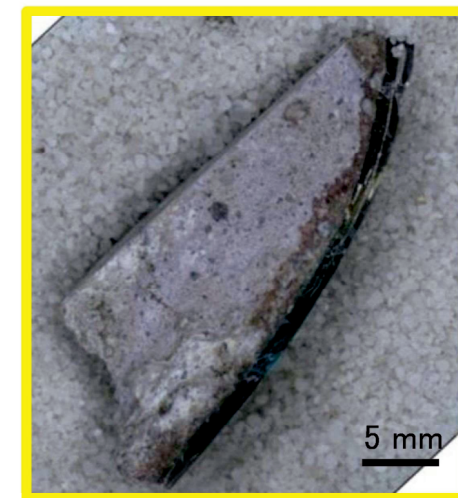
凡例
 ↘ 最新活動面

試料切断面



凡例
 ↘ 最新活動面

条線観察位置拡大



黄枠部拡大